

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月1日作成)

小委員会名	コンクリートブロック塀耐久性向上研究小委員会	主 査 名：川上 勝弥 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主 査 名：川上 勝弥
設 置 期 間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>コンクリートブロック塀は、主にコンクリートブロック、目地モルタル、充填コンクリート・モルタルおよび鉄筋により構成され、構成材料を鑑みると鉄筋コンクリート相当の耐久性を有すべき構造体とも考えられるが、実際にはその多くが20年程度で鉄筋の腐食などの劣化が認められる。その原因のひとつに、適切な施工方法に関する設計者、施工者および管理者の理解の不足が挙げられ、組積工事運営委員会では、2017年～2020年度に設置した「コンクリートブロック新工法研究小委員会」において、ブロック塀施工マニュアルの改訂、JASS7改定に向けた情報の蓄積などを行ってきた。コンクリートブロック塀耐久性向上研究小委員会では、構工法のさらなる改善によりブロック塀の耐久性を高めるべく、目地モルタルおよび充填モルタルの既調合化に向けた実験的検討や、非破壊検査などによる既存ブロック塀の検査方法を検討する。</p> <p>初年度：ブロック塀の構工法の問題点を整理し、特に目地モルタルおよび充填モルタルの既調合化に向け、モルタルの所要性能の整理や実験的研究をおこなった。</p> <p>2年度：実験結果をもとに、目地モルタルおよび充填モルタルの所要性能を確認した。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：川上 勝弥 (小山工業高等専門学校) 幹事：山崎 尚志 (職業能力開発総合大学校) 委員：井上 斉 (ワシロック株式会社)、笠井 健太 (マツオコーポレーション)、 関根 高明 (株式会社関根ブロック)、高橋 和雄 (太陽エコブロック株式会社)、 本田 隆 (マチダコーポレーション株式会社)、三田 紀行 (三重大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3回 (オンライン、メール含む) (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	

<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>市販のコンクリートブロック組積用既調合目地モルタルの諸性状について実験的検討を行い、現場調合モルタルとの物性を比較することで、既調合モルタルの所要性能を検討するための基礎データを得た。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>コロナ対策のため、オンラインおよびメールにて小委員会を開催したため、十分な検討が行えなかった。</p>